

表 26 CNIC の業務時間と他の変数の関係

変数	vs. 変数	Spearman の順位相関係数(ρ)	P 値(Prob> ρ)
業務時間/月	施設病床数	0.0677	0.3679
業務時間/月	施設 CNIC 数	-0.0807	0.2813
業務時間/月	必要 CNIC 数	0.0486	0.5172
業務時間/月	感染制御評価	0.0525	0.484
業務時間/月	年間救急患者数	0.0622	0.4572
業務時間/月	施設稼働病床数	0.0686	0.3697
業務時間/月	ICU 部門	-0.051	0.5049
業務時間/月	ハイケアユニット	0.0454	0.5625
業務時間/月	脳卒中ケアユニット	-0.007	0.9301
業務時間/月	NICU	0.0327	0.6795
業務時間/月	年間手術件数	-0.0053	0.9456
業務時間/月	心臓外科手術件数	-0.053	0.5069
業務時間/月	脳神経外科手術件数	0.041	0.6055
業務時間/月	眼科手術件数	-0.0081	0.9197
業務時間/月	施設平均在院日数	0.1705	0.0286
業務時間/月	施設平均外来受診患者数	0.0264	0.741
業務時間/月	常勤医師	0.0375	0.6355
業務時間/月	非常勤医師	0.1602	0.0464
業務時間/月	常勤看護師	0.0317	0.6874
業務時間/月	非常勤看護師	0.081	0.3129
業務時間/月	薬剤師	0.0488	0.5397
業務時間/月	臨床検査技師	0.0113	0.8871
業務時間/月	臨床工学技士	0.0678	0.3985
業務時間/月	第 1 種滅菌技士	-0.0824	0.3098
業務時間/月	第 2 種滅菌技士	0.0384	0.641
業務時間/月	CNIC の人数	-0.074	0.3417
業務時間/月	専従 CNIC の人数	0.282	0.0002
業務時間/月	専任 CNIC の人数	-0.1121	0.1478
業務時間/月	医師 (ICD)	-0.0545	0.4806
業務時間/月	医師 (ICD 以外)	0.0168	0.8284
業務時間/月	看護師 (CNIC)	-0.1003	0.1918
業務時間/月	看護師 (ICS)	0.1854	0.0171
業務時間/月	看護師 (CNIC・ICS 以外)	-0.0456	0.5549
業務時間/月	薬剤師 (BCICPS)	-0.0768	0.3236
業務時間/月	薬剤師 (BCICPS・BCPIC 以外)	0.049	0.5245
業務時間/月	臨床検査技師 (ICMT)	-0.0689	0.3819
業務時間/月	臨床検査技師 (ICMT 以外)	0.1545	0.0436
業務時間/月	栄養士	0.057	0.4647
業務時間/月	事務部門	0.091	0.2354
業務時間/月	看護師経験年数	-0.0428	0.5759
業務時間/月	CNIC 経験年数	0.0381	0.6185
業務時間/月	感染管理専任経験年数	0.1057	0.1715
業務時間/月	次休暇取得日数	-0.1182	0.1238
業務時間/月	平均時間外労働時間	0.0809	0.2816
業務時間/月	アウトブレイク件数	0.1771	0.0174
業務時間/月	(自加) 必要時間/月	0.1052	0.1645
業務時間/月	施設病床数	0.0677	0.3679
業務時間/月	施設 CNIC 数	-0.0807	0.2813

VI 資料

資料1 実践業務分析に関する注意事項

(A.インフェクション・コントロール・ナース (ICN) 日常業務必要時間の調査に基づく算定・II)

1. 専従職員の ICN が各項目について、勤務時間内、および、勤務時間外に、夫々必要と考える時間 (分) /週 (5 日間) : 1 週間 5 日の間に必要と考える時間 (分) を記入してください。合計時間は、40 時間 (8 時間×5 日)、あるいは、40 時間以上、つまり、8 時間/日で足りない時 (1 人の専従 ICN では、足りないことを意味し、場合によっては、2 人分、3 人分、に成ることも有り得ます) は 40 時間を越えます。
実践業務分析の対象として想定する病院の規模概要 :
2 次救急 急性期病院 (精神科なし)
1) 病床数 600 床 2) ICU 8 床 (含 SCU) 3) CCU 8 床 4) 手術室 10 室
5) 手術件数 5,000 件/年 6) 平均在院日数 12.0 日 7) 病床稼働率 88%
註 SCU : ストローク・ケア・ユニット
2. この調査は、皆さんのご意見を聞いて、その結果を集計、平均を出して、皆さんにフィードバックします。
3. その値を見て、ご検討の上、新たな数値 (各項目の分 : 修正意見) を記入して、また送り返してください。
4. これを数回繰り返します。
5. 絶対に相談したりしないで下さい。あくまでご自身の考える各項目の必要時間 (分) を記入してください。
6. 集計してフィードバックされた、各項目の平均値は、あくまでも参考値で、これを見ながら、ご自分の考える必要時間 (分) を再検討し、より適切と思う値として、書き込んでください。参考値に捕らわれる必要はありません。参考値はあくまで参考値です。
7. ほぼ 1 週間の周期で、繰り返します。どうぞよろしく御協力の程をお願い致します。

資料2 実. 実践業務分析調査票

(A.インфекション・コントロール・ナース (ICN) 日常業務必要時間の調査に基づく算定 - II)

実践業務分析調査票 第 回 2011年 月 日

No. 氏名 e-mail アドレス：
項目とそれに必要と考える時間 (分) /週 (5日間)

No	チェック項目	必要時間 (分) /週 (5日間)	
		勤務時間内	勤務時間外
1	電子情報に基づく机上でのサーベイランス		
2	病棟へ出向いてのサーベイランス		
3	定期的症例ラウンド/介入		
4	臨時のラウンド/介入		
5	定期的病院環境ラウンド/介入		
6	感染制御に関連する委員会業務		
7	感染制御に直接関連しない委員会業務		
8	感染制御関連医師との打合せ		
9	看護部内の感染制御に関わる打合せ		
10	その他関連職員との感染制御関連の打合せ		
11	インターネットによる感染制御に関わる知識習得		
12	文献検索による感染制御に関わる知識習得		
13	専門誌/専門雑誌による感染制御に関わる知識習得		
14	施設内看護師の感染制御に関わる教育		
15	施設内看護師以外の職員の感染制御に関わる教育		
16	感染制御に関わるマニュアル/プロトコール作成		
17	感染制御に関わるマニュアル/プロトコール評価		
18	感染制御に関わる情報提供/啓発活動		
19	日常的定時の感染制御に関わる助言/相談		
20	臨時の感染制御に関わる助言/相談		
21	アウトブレイクの疑い監視		
22	アウトブレイクの特定作業		
23	アウトブレイクの制圧作業		
24	耐性菌対策業務 (MRSA、VRE など)		
25	報告義務感染症対策業務 (結核など)		
26	抗菌薬適正投与の監視		
27	職業感染予防対策		
28	消毒薬適正使用への介入		
29	中央滅菌供給部における洗浄/消毒/滅菌の適正評価		
30	ファシリティーマネジメント		
31	外部施設での感染制御に関わる教育/助言/相談		
32	外部一般社会への感染制御に関わる教育/助言/相談		
33	感染制御に関連する統計などの事務処理		
34	感染制御に関わる記録/メモ整理		
35	感染制御に関わる報告書作成		
36	感染制御に関わる雑誌等原稿作成		
37	考えている時間		
38			
39			
40			
41	その他の感染制御に関わる活動		

2012年4月吉日

感染管理認定看護師の皆様へ

感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査依頼

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、施設背景別による感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告 (厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業 「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊)、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。

調査は、web 上のフォームから回答する形式で、一次調査 (入力時間5分程度) の回答返信の後、二次調査 (入力時間20分程度)、三次調査 (入力時間30分程度) の順に入力フォームをメールで送付します (二次、三次調査は続けて回答する必要はありません)。

二次調査、三次調査の回答をお願いするにあたって一次調査でメールアドレスの入力をお願いしますが、メールアドレス等は個人情報の保護に努め、本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。

調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は全て任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。

調査にご協力いただける方は、5月18日(金)までに下記のいずれかで Web フォームにアクセスし入力ください。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

調査フォーム URL

<http://www.efeel.to/survey/thcu1/>

※web にて東京医療保健大学大学院の公式 HP→大学院→information のページからもアクセスが可能です。

※フォームへの入力には依頼文の入った封筒の宛先の下にある4ケタの番号が必要となりますので封筒を紛失しないようにしてください。

研究責任者 中田 諭

共同研究者 吉田理香 黒須一見 小林寛伊

問い合わせ

東京医療保健大学大学院

感染制御学博士課程 中田 諭

E-Mail : satoshi.nakata.thcu@gmail.com

資料4 一次調査 (B.感染管理認定看護師およびインフェクションコントロールドクターの必要人数)

感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査 (一次調査)

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、施設背景別による感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告 (厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業 「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」 主任研究者 小林寛伊)、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。

調査は、web 上のフォームから回答する形式で、一次調査 (入力時間5分程度) の回答返信の後、二次調査 (入力時間20分程度)、三次調査 (入力時間30分程度) の入力フォームをメールで送付します (二次、三次調査は続けて回答する必要はありません)。

二次調査、三次調査の回答をお願いするにあたって一次調査でメールアドレスの入力をお願いしますが、メールアドレス等は個人情報の保護に努め、本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。

調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は全て任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。

何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

回答期限 2012年5月18日 (金)

研究責任者 中田 諭

共同研究者 吉田理香 黒須一見 小林寛伊

問い合わせ

東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程 中田 諭

satoshi.nakata.thcu@gmail.com

調査の同意

フォームへの入力は全て任意とし、途中で中止することや回答後の変更および削除が可能です。また、回答によって協力者個人や所属施設の特定や不利益が生じることがないように、データ管理と処理を行ないます。

一次調査において、取得したメールアドレスは、本研究以外の利用はせず、研究終了時にデータを削除します。

データの集計は、個人や施設が特定されない形式で処理を行い、必要のないデータは速やかに削除いたします。

●本調査に同意いただけますか？

同意する 同意しない

以降は「同意する」と回答した方のみ回答ください。

質問数は5問です。

●依頼文の入っているあなたの封筒に書き込まれている番号を入力してください。

※番号が不明の場合は問い合わせのメールに連絡をください。

現在、勤務している病院（勤務をしていない方は以前勤務していた施設）についてお聞かせください。

1. あなたの勤務先の施設を入力してください。

- 病院
- 診療所
- 福祉施設
- 教育機関
- 休職中
- その他

2. あなたの勤務する施設の病床数は？

病床数の数字を入力してください。

3. あなたの勤務する施設には何人の ICN（感染管理認定看護師）が勤務していますか？

人数を数字で入力してください。

4. あなたの勤務する施設にはあなたを含め何人の感染管理認定看護師が必要だと思いますか？

必要人数を数字で入力してください。

5. あなたは自施設の感染制御をどのように評価しますか？10段階で回答ください。

十分な感染制御対策がとられているを10 全く感染制御対策がとられていないを0として、あなたが考える数字を入力してください。

一次調査はこれで終了です。

あなたのメールアドレスを入力ください。二次調査のフォームを送付します。（半角文字で入力してください）

下の送信ボタンをクリックし、プレビュー画面の回答ボタンのクリックで一次調査は終了です。

※送信後5分以内に入力したメールアドレス宛てに二次調査と三次調査の依頼メールが届きます。（メールが届かない場合はお手数ですがこちらまで連絡ください）

引き続き二次三次調査よろしくお願いたします。

ご協力誠にありがとうございました。

資料5 二次調査 (B.感染管理認定看護師およびインフェクションコントロールドクターの必要人数)

感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査 (二次調査)

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、施設背景別による感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告 (厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業 「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊)、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。

調査は、web 上のフォームから回答する形式で、一次調査 (入力時間5分程度) の回答返信の後、二次調査 (入力時間20分程度)、三次調査 (入力時間30分程度) の入力フォームをメールで送付します (二次、三次調査は続けて回答する必要はありません)。

二次調査、三次調査の回答をお願いするにあたって一次調査でメールアドレスの入力をお願いしましたが、メールアドレス等は個人情報の保護に努め、本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。

調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は全て任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。

何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

回答期限 2012年5月18日 (金)

研究責任者 中田 諭

共同研究者 吉田理香 黒須一見 小林寛伊

問い合わせ

東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程 中田 諭

satoshi.nakata.thcu@gmail.com

調査の同意

フォームへの入力は全て任意とし、途中で中止することや回答後の変更および削除が可能です。また、回答によって協力者個人や所属施設の特定や不利益が生じることがないように、データ管理と処理を行ないます。

一次調査において、取得したメールアドレスは、本研究以外の利用はせず、研究終了時にデータを削除します。

データの集計は、個人や施設が特定されない形式で処理を行い、必要のないデータは速やかに削除いたします。

●本調査に同意いただけますか？

同意する 同意しない

以降は「同意する」と回答した方のみ回答ください。

質問数は20問です。

●依頼文の入っているあなたの封筒に書き込まれている番号を入力してください。

※番号が不明の場合は問い合わせのメールに連絡をください。

あなたが現在勤務している（もしくは以前勤務していた）施設について回答してください。

1. 施設の設置主体

- 独立行政法人国立病院機構
- 国立大学病院
- 都道府県・市町村
- 地方独立行政法人
- 日本赤十字社
- 済生会
- 厚生連
- 社会保険関係団体
- 公益法人
- 私立学校法人
- 医療法人
- 社会福祉法人
- その他の法人
- 個人
- その他

2. 特定機能病院の有無

- 有 無
- その他

3. 救急指定病院（複数選択可）

- 一次救急 二次救急 三次救急
- その他

4. 年間救急患者数

5. 施設の病床数について回答してください。

※該当病床のない場合は0を入力

施設稼働病床数

ICU部門（集中治療室：救急・外科系・内科系含む）合計病床数

ハイケアユニット病床数

脳卒中ケアユニット病床数

NICU（新生児集中治療室）病床数

6. 年間の手術件数について回答してください。

※該当手術がない場合は0を入力

年間手術件数

心臓外科手術件数

脳神経外科手術件数

眼科手術件数

7. 施設平均在院日数

8. 施設平均外来受診患者数

9. 医療安全対策加算の有無

有：医療安全対策加算1

有：医療安全対策加算2

無

その他

10. 感染防止対策加算の有無

有：感染防止加算1

有：感染防止加算2

無

その他

11. 感染防止対策地域連携加算の予定の有無

予定あり

予定なし

不明

その他

12. 勤務施設の職員構成について回答してください。

※不在の場合は0を入力

常勤医師

非常勤医師

常勤看護師

非常勤看護師

薬剤師

臨床検査技師

臨床工学技士

第1種滅菌技士

第2種滅菌技士

13. ICN の人数（施設全体）について回答してください。

※不在の場合は0を入力

専従ICN の人数

専任ICN の人数

14. 感染対策チームの有無

有 無

15. 感染対策チームの構成メンバー職種と人数について回答してください。

※不在の場合は0を入力

医師（ICD）

医師（ICD 以外）

看護師（ICN）

看護師（ICS）

看護師（ICN・ICS 以外）

薬剤師（BCICPS）

薬剤師（BCICPS・BCPIC 以外）

臨床検査技師（ICMT）

臨床検査技師（ICMT 以外）

栄養士

事務部門

その他（具体的な職種と人数を入力）

16. 感染制御チームによる定期的な院内ラウンドの有無

有 無

その他

17. 院内ラウンドの頻度

毎日 1回/週 2回/週 1回/月 2回/月 1回/年 2回/年

3回/年 4回/年 6回/年 不定期 その他

18. サーベイランスの実施（複数選択可）

VAP

BSI

UTI

SSI

その他（具体的に入力）

19. 中央材料室業務について聞かせてください

- 全て施設内で実施
- 概ね施設内で実施
- 半分程度外部委託
- 概ね外部委託
- 全て外部委託
- その他

20. あなたについて回答してください。

配属部署

- 看護部
- 安全管理（対策）室
- 手術室
- ICU・CCU・NICU 部門
- HCU 部門
- 病棟
- その他

職位

- 看護部長
- 副看護部長
- 看護師長
- 副看護師長
- 主任
- スタッフナース
- その他

感染管理業務

- 専従
- 専任
- その他

看護師経験年数年目

ICN 経験年数年目

感染管理専任経験年数年目

資料6 三次調査 (B.感染管理認定看護師およびインフェクションコントロールドクターの必要人数)

感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査 (三次調査)

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、施設背景別による感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告 (厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業 「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊)、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。

調査は、web 上のフォームから回答する形式で、一次調査 (入力時間5分程度) の回答返信の後、二次調査 (入力時間20分程度)、三次調査 (入力時間30分程度) の入力フォームをメールで送付します (二次、三次調査は続けて回答する必要はありません)。

二次調査、三次調査の回答をお願いするにあたって一次調査でメールアドレスの入力をお願いしましたが、メールアドレス等は個人情報の保護に努め、本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。

調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は全て任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。

何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

回答期限 2012年5月18日 (金)

研究責任者 中田 諭

共同研究者 吉田理香 黒須一見 小林寛伊

問い合わせ

東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程 中田 諭

satoshi.nakata.thcu@gmail.com

調査の同意

フォームへの入力は全て任意とし、途中で中止することや回答後の変更および削除が可能です。また、回答によって協力者個人や所属施設の特定や不利益が生じることがないように、データ管理と処理を行ないます。

一次調査において、取得したメールアドレスは、本研究以外の利用はせず、研究終了時にデータを削除します。

データの集計は、個人や施設が特定されない形式で処理を行い、必要のないデータは速やかに削除いたします。

●本調査に同意いただけますか？

同意する 同意しない

以降は「同意する」と回答した方のみ回答ください。

●依頼文の入っているあなたの封筒に書き込まれている番号を入力してください。

※番号が不明の場合は問い合わせのメールに連絡をください。

あなたの勤務状況および過去1年間で感染管理業務に必要とした時間等を回答してください。

1. 2011年度年次休暇取得日数

※年次休暇を取得して外部の感染管理関連業務を行った日を除いた日数を入力してください。

2. 1ヶ月あたりの平均時間外労働時間

※超過勤務の申請の有無に関わらず所定の勤務時間以外に勤務を要した時間

3. 過去1年間でアウトブレイクの対応を必要とした件数

4. あなたはICNとして必要な感染制御の活動を行なうためにさらに時間が必要であると考えますか。1ヶ月あたりに必要と考える時間を入力してください。

※1日の所定勤務時間が8時間の場合、1週間の勤務時間=8時間×5日=40時間、1ヶ月の所定勤務時間は、8時間×5日×4週(28日)=160時間として入力してください。

※必要と思わない場合は0時間と入力してください。

5. 感染管理活動時間

あなたが過去1年間の感染制御に費やした活動時間を1ヶ月あたりに平均した時間を入力してください。

※入力する時間は、1) 施設内の感染管理業務に要した時間(30項目)、2) 施設外の感染管理業務に要した時間(4項目)、3) 自己研鑽に要した時間(6項目)、4) その他の感染管理業務に要した時間(1項目)に分けて入力していただきたいので、まず全体の項目を確認してから入力をお願いします。

※1ヶ月の日数は28日間(4週間)として換算

※1日の所定勤務時間が8時間の場合、1週間の勤務時間=8時間×5日=40時間、1ヶ月の所定勤務時間は、8時間×5日×4週(28日)=160時間として入力してください。

※1ヶ月あたりの活動時間が30分の場合は0.5とし、該当する活動を行っていない場合は0時間と入力してください。

1) 施設内の感染管理業務に要した時間

(1) 施設内の感染監視・評価に要した時間

a 電子情報端末によるサーベイランス

b 病棟へ出向いてのサーベイランス

c 定期的症例ラウンド/介入

d 臨時のラウンド/介入

e 定期的病院環境ラウンド/介入

f 耐性菌対策業務(MRSA、MDRP、ESBLなど)

g 抗菌薬適正投与の監視

h 消毒薬適正使用への介入

i 中央滅菌供給部における洗浄/消毒/滅菌の適正評価

(2) 感染防止マニュアル・教育・指導に要した時間

a 施設内看護師の感染制御に関わる教育

b 施設内看護師以外の職員の感染制御に関わる教育

c 感染制御に関わるマニュアル/プロトコール作成

d 感染制御に関わるマニュアル/プロトコール評価

e 感染制御に関わる情報提供/啓発活動

f 職業感染予防対策

(3) アウトブレイク関連に要した時間

a アウトブレイクの特定作業

b アウトブレイクの制圧作業

c ファシリティマネジメント

(4) その他の施設内の感染制御業務（会議・連絡・調整・相談等）に要した時間

a 感染制御に関連する委員会業務

b 感染制御に直接関連しない委員会業務

c 感染制御関連医師との打合せ

d 看護部内の感染制御に関わる打合せ

e その他関連職員との感染制御関連の打合せ

f 日常的定時の感染制御に関わる助言/相談

g 臨時の感染制御に関わる助言/相談

h 報告義務感染症対策業務（結核など）

i 感染制御に関連する統計などの事務処理

j 感染制御に関わる記録/メモ整理

k 感染制御に関わる報告書作成

L 感染制御に関連する委員会等の準備時間

2) 施設外における感染管理業務に要した時間

a 施設外活動（地域ネットワーク・院外教育・相談等）

b 外部施設での感染制御に関わる教育/助言/相談

c 外部一般社会への感染制御に関わる教育/助言/相談

d その他の感染制御に関わる施設外活動

3) 自己研鑽に要した時間

a インターネット等による感染制御に関わる知識習得

b 文献検索による感染制御に関わる知識習得

c 学会・研究会等の発表準備

d 専門誌/専門雑誌による感染制御に関わる知識習得

e 感染制御に関わる雑誌等原稿作成

f その他感染制御について考えている時間

4) その他の感染管理業務に要した時間

5. その他 ICN の人数に関する事、ICN の活動時間に関する事、本研究に関する事など意見がありましたら入力ください。

資料7 一次調査回答者への自動返信内容

(B.感染管理認定看護師およびインフェクションコントロールドクターの必要人数)

送信者：satoshi.nakata.thcu@gmail.com

タイトル：回答ありがとうございました。【二次・三次調査協力のお願ひ】

本文

\$NAME 様

調査協力ありがとうございました。

引き続き以下のアドレスから二次・三次調査の協力をお願いいたします。

二次調査 (回答に 20 分程度要します)

<http://www.efeel.to/survey/thcu2/>

三次調査 (回答に 30 分程度要します)

<http://www.efeel.to/survey/thcu3/>

入力期限 2012 年 5 月 18 日 (金)

二次調査、三次調査のいずれも入力途中のデータを保存することができませんので、あらかじめ質問内容を確認
いただいてから入力していただけるとスムーズに入力ができます。

お手を煩わせますが、何卒協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

なお、本調査の公表と併せて希望者には結果の報告をさせていただくことを予定しております。

希望される方は、次のアドレスから連絡先等を入力してください。

<http://www.efeel.to/survey/thcudata/>

また、本調査に関するご意見・ご質問、入力データの削除や修正などについては以下の連絡先までメールをくだ
されば対応いたします。

よろしくお願ひいたします。

連絡先

東京医療保健大学大学院

感染制御学 中田 諭

satoshi.nakata.thcu@gmail.com

資料8 CICDを対象とした感染制御業務必要時間調査

(B.感染管理認定看護師およびインフェクションコントロールドクターの必要人数)

厚生労働科学研究の一環としておこなう調査へのご協力をお願い

ICD 実践業務分析: 調査ご協力お願い

この度、厚生労働科学研究 地域医療基盤開発推進研究事業「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊(H23 - 医療 - 一般 - 005)の一環として、インフェクション・コントロール・ドクター (ICD)の必要数を算出する Delphi 法による調査を企画いたしました。必要 ICD 数に関しましては、厚生労働省担当部局は、ご専門の先生方のご意見を纏めた結果を強く望まれており、今回の調査結果は、今後の基準に成る可能性を含んでおりますので、超御多忙な先生方に誠に恐縮ながら、下記の注意事項に従いまして、どうぞよろしくご協力の程をお願い申し上げます。

2週間の周期でご回答いただくことのご負担は十分承知いたしておるつもりですが、枉げてご協力の程をお願い申し上げます。また、ICNに関しては、既にいくつかの調査をおこなっております。なお、調査の解析は東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程の中田 諭が担当いたします。解析結果は、博士課程の研究として活用させていただきますことも併せてご了承ください。

ICD 実践業務分析 Delphi 法に関するお願いと注意事項

専従 ICD としての業務と仮定してご回答ください

専従職員の ICD が各項目について、勤務時間内、および、勤務時間外に、夫々必要と考える時間 (分) / 週 (5 日間) を記入してください。合計時間は、40 時間 (8 時間×5 日)、あるいは、40 時間を越える (1 人の専従 ICD では足りないことを意味し、場合によっては、2 人分、3 人分に成る) ことも有り得ます。

実践業務分析の対象として想定する病院の規模概要：2次救急、急性期病院 (精神科なし)

- 1) 病床数 600 床
- 2) ICU 8 床 (含 SCU)
- 3) CCU 8 床
- 4) 手術室 10 室
- 5) 手術件数 5,000 件 / 年
- 6) 平均在院日数 12.0 日
- 7) 病床稼働率 88%

註 SCU：ストローク・ケア・ユニット

この調査は、選ばれた先生方 (感染制御医として病棟ラウンド等を日常業務としておられる感染制御医) のご意見を伺い、そのご意見を集計した結果として、平均値が Web ページ上に掲載されます。

Web ページ上のフィードバック欄に掲載された平均値をご覧いただき、ご検討の上、新たな数値 (各項目の分：修正

意見) を回答サイトよりご回答ください。

集計された各項目の平均値は、あくまでも参考値としてご覧いただき、ご自分の考える必要時間(分)を再検討し、より適切と思われる値を回答してください。参考値に捕らわれる必要はありません。参考値はあくまで参考値です。

これを3回繰り返させて頂きます。隔週月曜日に回答〆切、同週木曜日に集計結果を フィードバック欄に掲載することを予定しています。

第1回 回答〆切 10月29日(月)23:30迄 平均値のWeb掲載 11月1日(木)

第2回 回答〆切 11月12日(月)23:30迄 平均値のWeb掲載 11月15日(木)

第3回 回答〆切 11月26日(月)23:30迄 平均値のWeb掲載 11月29日(木)

※ 必要性が生じましたら、もう一度お伺いいたします。

※ 平均値算出のためには、皆様のご回答がすべて揃うことが条件となりますので、〆切期日をお守りくださいますようお願い申し上げます。

超御多忙な先生方に恐縮ですが、どうぞよろしくご協力の程をお願い申し上げます。

資料9 ICIDに対する質問項目(1週間あたりに必要な時間入力)

(B.感染管理認定看護師およびインフェクションコントロールドクターの必要人数)

1	電子情報に基づく机上でのサーベイランス
2	病棟へ出向いてのサーベイランス
3	定期的症例ラウンド/介入
4	臨時のラウンド/介入
5	定期的病院環境ラウンド/介入
6	感染制御に関連する委員会業務
7	感染制御に直接関連しない委員会業務
8	感染制御関連医師との打合せ
9	看護部との感染制御に関わる打合せ
10	その他関連職員との感染制御関連の打合せ
11	インターネットによる感染制御に関わる知識習得
12	文献検索による感染制御に関わる知識習得
13	専門誌/専門雑誌による感染制御に関わる知識習得
14	施設内看護師の感染制御に関わる教育
15	施設内看護師以外の職員の感染制御に関わる教育
16	感染制御に関わるマニュアル/プロトコル作成
17	感染制御に関わるマニュアル/プロトコル評価
18	感染制御に関わる情報提供/啓発活動
19	日常的定時の感染制御に関わる助言/相談

20	臨時の感染制御に関わる助言/相談
21	臨床微生物分離状況の監視作業
22	アウトブレイクの疑い監視
23	アウトブレイクの特定制業
24	アウトブレイクの制圧作業
25	耐性菌対策業務（MRSA、VRE など）
26	報告義務感染症対策業務（結核など）
27	抗菌薬適正投与の監視
28	職業感染予防対策
29	消毒薬適正使用への介入
30	手術部における感染制御策への介入
31	中央滅菌供給部における洗浄/消毒/滅菌の適正評価
32	ファシリティマネジメント
33	外部施設での感染制御に関わる教育/助言/相談
34	外部一般社会への感染制御に関わる教育/助言/相談
35	感染制御に関連する統計などの事務処理
36	感染制御に関わる記録/メモ整理
37	感染制御に関わる報告書作成
38	感染制御に関わる雑誌等原稿作成
39	考えている時間
40	学会・研究会活動（含む準備）
41	医学部学生教育（毎週継続的な教育）
42	研修医教育（毎週継続的な教育）
43	その他の感染制御に関わる活動

Ⅶ 感染対策地域支援ネットワーク

全国における感染対策地域支援ネットワークの構築

小林寛伊、鈴木明子、菅原えりさ、吉田理香、賀来満夫

1 はじめに

患者の高齢化による易感染者の増加や、多剤耐性菌のひろがりというように、我が国の医療を取り巻く状況は変化している。そのため、個々の医療機関における日常的な感染制御の取り組みだけではなく、地域の医療機関等でネットワークを構築し、院内感染発生時においても適切に対応できるように相互に支援する体制を構築することが重要であると、平成 23（2011）年 2 月 8 日に厚生労働省医政局指導課長より出された「院内感染対策中央会議提言」の中で示された¹⁾。続く、平成 23（2011）年 6 月 17 日の「医療機関等における院内感染対策について」（医政指発 0617 第 1 号厚生労働省医政局指導課長通知）では、医療機関間の連携について、緊急時に地域の医療機関同士が連携し、各医療機関のアウトブレイクに対して支援がなされるように言及した²⁾。具体的には、大学病院や国立病院機構傘下の医療機関、公立病院等地域における中核医療機関、あるいは学会指定医療機関等が地域のネットワークの拠点医療機関として中心的な役割を担い、医療機関相互のネットワークを構築することが示された。

ところで、感染対策における医療機関のネットワーク構築は、この通知以前から実践されてきた。1 つ目は、平成 16（2004）年から開始された厚生労働省のモデル事業としての「院内感染対策地域支援ネットワーク事業」である。2 つ目は、平成 21（2009）年 10 月の厚生労働省内感染対策中央会議で了承され、平成 22（2010）年から始まった、日本環境感染学会が認定している認定教育施設³⁾を核として、その周辺の中小病院での感染制御を支援する事業である。3 つ目は、同会議で示された、日本病院会で平成 14（2002）年から実施されている感染制御講習会（Infection Control Staff: ICS 講習会）の修了者を組織化した、中小病院の感染制御ネットワーク構築である。これらの実践や成果の積み重ねが、指導課長通知へつながっているものと考えられる。

そして、平成 24（2012）年 4 月の診療報酬改定により、感染防止対策加算が新設された。加算 1 算定施設と加算 2 算定施設が年 4 回以上の共同カンファレンスを実施し、加算 1 算定施設同士が年 1 回以上の相互評価を実施することなどで、感染対策における医療機関のネットワークを構築するものである⁴⁾。

厚生労働科学研究費補助金「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」において、地域支援ネットワーク状況を明らかにするべく、平成 23 年度は、日本環境感染学会認定教育施設による地域支援ネットワークの活動状況について、また、平成 24 年度は、感染防止対策加算による地域支援ネットワーク状況について実態調査を行った。これらの調査を通して明らかとなった、感染対策における地域ネットワークの構築状況について報告する。

2 方 法

1) 日本環境感染学会認定教育施設を対象にした調査（以下調査 1）

平成 23（2011）年 6 月に、日本環境感染学会認定教育施設 39 施設を対象にして、感染制御地域支援ネットワークの構築を目的とした試行を義務付け、同年 12 月に報告された実績の内容を分析した。

2) 感染防止対策加算 1 を対象にした調査（以下調査 2）

平成 24（2012）年に、全国 8 か所の地方厚生局 HP に公表された「届出受理医療機関名簿」より、感染防止対策加算 1 を平成 24（2012）年 4 月 1 日に算定し届け出た全 898 施設を対象とした。同年 12 月に郵送し、回収した記名自